



阿惣ダム周辺整備イメージ



2、豊かで活力ある 産業のまちづくり

◆ 農 業

町勢の振興発展は産業の振興にある事は言をまたないところですが、基幹産業の農業については誠に厳しい状況にあります。

水 稲

後継者不足に加え、輸入自由化や新食糧法の施行により厳しい状況にある米作農業。コスト削減と高付加価値米の商品化が課題に。

産業・生活環境の水資源確保のため大きな期待がかかる阿惣ダムは、今年度堤体工事に入る。(完成予想図ですので、実際とは異なる場合があります。)

昨年十一月一日新食糧法が施行され、本年から新生産調整推進対策事業に取り組むことになりました。新生産調整は、米の需給・価格の安定のために本年本町に配分を受けました転作面積は、対前年比五八・八増の三二〇haとなりました。転作率は二九パーセントとなり大変厳しい数字ですが、長門大津農協とともに転作の目標を達成できるよう推進し、米価の安定のためには農業者自ら転作に取り組む必要があると思われれます。

また、革新的農業技術・経営実証モデル事業を導入し、米の低コスト・省力技術の導入により低コスト技術体系の確立を図るため、河原宮農改善組合に高速機械を導入し、農作業省力化

のモデル地区として農業経営の安定化を図ることとしています。

畜 産

畜産については、高級肉牛の産地化をめざして油谷但馬牛研究協議会・肥牛共励会を中心に、但馬牛の産地化と油谷但馬牛強化育成指定交配促進事業を新設し、上物枠の増加と優良系統牛の保留をはかりながら、繁殖から肥育の一貫経営の確立と油谷但馬牛のブランド化を推進していきます。

基 盤 整 備

農業基盤整備事業では、県営ほ場整備事業の久富、河原地区は全部終了します。須方、中畑地区は継続して実施し、新しく新開作地区(河原)について調査事業に着手します。

農村総合整備モデル事業については、平成八年度総事業費三億三〇〇万円で実施し、進捗率は六一・七%となります。

県営阿惣ダムの建設については、関係者の合意を得て昨年十二月、用地買収もほぼ完了し本

◆ 林 業

格的に堤体工事に着手できる見通しとなっています。

林業の振興については、引き続き松くい虫防除対策や造林事業を実施し、森林資源の確保に努めます。林道中畑線の開設、連絡道油谷北線舗装については平成八年度で完成します。

また、平成八年度山口県植樹祭を本年四月二十三日、妙見山展望公園を主会場として関係者一、八〇〇人の出席により盛大に開催することと決定しており、受け入れ対策に万全を期しているところです。(関連記事10ページ)

◆ 水 産

次に、水産業ですが、昨年度の各漁協の決算によりますと、総水揚高は横ばい状態で増収は望めず、漁獲量の減少や漁業従事者の高齢化による後継者対策など、今後とも漁業をとりまく環境は誠に厳しいものがあると考えられます。

このような状況を踏まえ、ク